

奄美地域における夏植えに向くサトウキビ奨励品種「Ni27」の特性

サトウキビ奨励品種「Ni27」は一茎重が重く、多収である。特に夏植えにおいて多収であるため、夏植え-株出し体系に適する。

背景・目的

- ・奄美地域において平成26年産のサトウキビ収穫面積の24%を占める夏植えは、大規模農家等を中心に作付けされている。
- ・しかし、単収は5,873kg/10aと県増産計画目標の7,407kg/10aの79%にとどまっており、単収向上が課題である。
- ・夏植え-株出し体系は、「NiF8」等を中心に栽培されているが、これらの品種を上回る多収品種の選定・普及が求められている。

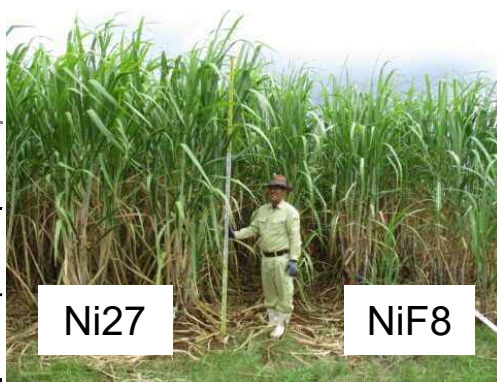
成果の内容

一茎重が重く、夏植え-株出し体系に適するサトウキビ新奨励品種「Ni27」

Ni27の特性

- ・新植で「NiF8」より多収。特に夏植えで多収。
- ・甘蔗糖度は「NiF8」よりやや高い。
- ・中太茎で一茎重が重い。

栽培型	原料 茎数 本/a	原料 茎長 cm	原料 茎径 mm	一茎 重 g	原料 茎重 kg/a	甘蔗 糖度 %	可製 糖量 kg/a
春植え	964 (107)	197 (99)	23.6 (101)	819 (109)	791 (117)	16.2 (101)	118 (118)
夏植え	898 (107)	273 (105)	25.1 (105)	1,487 (117)	1,319 (125)	16.2 (105)	196 (131)
株出し	597 (91)	211 (103)	24.9 (106)	893 (117)	532 (107)	15.8 (105)	79 (111)



夏植えの生育(H28年8月)

導入メリット

作業分散と生産性向上

大規模農家や作業受託農家等において、春植え-株出し体系のみでは植付けと収穫の作業が競合する。

↓
植付作業時期の異なる夏植え栽培で、多収の「Ni27」を導入することで、作業分散と生産性向上を図ることができる。

期待される効果

奄美地域における夏植えの単収向上による大規模農家等の経営安定

普及対象・範囲
奄美地域のサトウキビ栽培農家